

## 平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 2 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日まで)

### ①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第 4 条第 1 号）

- ・第 113 回日本外科学会定期学術集会を下記のとおり行う。  
日時 平成 25 年 4 月 11 日～13 日  
場所 福岡国際会議場/福岡サンパレス/マリンメッセ福岡（福岡市）  
参加予定者数 12,000 名 演題数 3,000 題  
テーマ 「創始と継志」

### ②機関誌、論文図書等の刊行（定款第 4 条第 2 号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成 25 年 2 月 10 日	114	臨時増刊 1	38,000
平成 25 年 3 月 1 日	114	2	38,000
平成 25 年 3 月 15 日	114	臨時増刊 2	38,000
平成 25 年 5 月 1 日	114	3	38,000
平成 25 年 7 月 1 日	114	4	38,000
平成 25 年 8 月 15 日	114	臨時増刊 3	38,000
平成 25 年 9 月 1 日	114	5	38,000
平成 25 年 11 月 1 日	114	6	38,000
平成 26 年 1 月 1 日	115	1	38,000

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」の購読状況を調査するため、会員アンケートを行う。
- ・Official Journal「Surgery Today」およびオンライン・ファーストを下記のとおり発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数（電子ジャーナル発行分含む）
平成 25 年 2 月 1 日	43	2	40,000
平成 25 年 3 月 1 日	43	3	40,000
平成 25 年 4 月 1 日	43	4	40,000
平成 25 年 5 月 1 日	43	5	40,000
平成 25 年 6 月 1 日	43	6	40,000
平成 25 年 7 月 1 日	43	7	40,000
平成 25 年 8 月 1 日	43	8	40,000
平成 25 年 9 月 1 日	43	9	40,000
平成 25 年 10 月 1 日	43	10	40,000
平成 25 年 11 月 1 日	43	11	40,000
平成 25 年 12 月 1 日	43	12	40,000
平成 26 年 1 月 1 日	44	1	40,000

- ・英文の Case Report 誌の発刊を検討する。

### ③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第 4 条第 3 号）

- ・ドイツ外科学会、American College of Surgeons (ACS)、Society of University Surgeons

(SUS) と若手外科医の交換交流を行い、International Federation of Surgical Colleges (IFSC) の加盟を継続する。

- ・日本医学会，日本医療機能評価機構，日本女性外科医会の活動に積極的に参画する。
- ・外科系 15 学会と外科関連学会協議会を組織して，外科系の横断的な諸問題を協働で検討する。

④外科学に関する研究及び調査（定款第 4 条第 4 号）

- ・標準手術ビデオを 5 本作成して，ビデオライブラリーに収載する。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第 4 条第 5 号）

- ・外科専門医制度に則り，外科専門医を認定し，指導医を選定し，認定登録医を登録し，指定施設と関連施設を指定する。
- ・日本専門医制評価・認定機構に参加し，専門医に関する第三者機関の設立に協力する。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第 4 条第 6 号）

- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」に則り，該当者から利益相反自己申告書を回収する。
- ・第 10 回臨床研究セミナーを下記のとおり行う。  
日時 平成 25 年 4 月 13 日  
場所 福岡国際会議場（福岡市）参加者予定数 600 名
- ・第 20 回研究奨励賞を表彰する（5 名）。
- ・第 113 回定期学術集会のビデオ演題のうち，優秀な 10 演題をビデオライブラリーに収載して，制作補助費を支給する。
- ・肥満症例についての公的補助（厚生労働科学研究費補助金）の申請をサポートする。
- ・若手外科医の研究サポートのため，研究費の補助金支給を検討する。

⑦生涯学習活動の推進（定款第 4 条第 7 号）

- ・第 83 回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。  
日時 平成 24 年 4 月 13 日  
場所 福岡サンパレス大ホール（福岡市）参加者予定者数 1,000 名  
テーマ 「災害医療—外科医にとって必要な災害医療の知識—」
- ・第 84 回卒後教育セミナーを下記のとおり行う。  
日時 平成 24 年 12 月 1 日  
場所 名古屋国際会議場（名古屋市）参加者予定者数 1,000 名  
テーマ 「ロボット支援手術からみた手術技術の向上」
- ・第 21 回生涯教育セミナーを下記のとおり行う。  
テーマ 「外科的な救急疾患」  
(北海道地区)  
日時 平成 26 年 1 月 18 日  
場所 札幌市内 参加者予定数 100 名  
(東北地区)  
日時 平成 25 年 9 月 14 日

場所 青森市内 参加予定者数 100名  
(関東地区)

日時 平成25年10月5日

場所 東京都内 参加予定者数 100名  
(中部地区)

日時 平成25年4月7日

場所 名古屋市内 参加予定者数 100名  
(近畿地区)

日時 平成25年6月22日

場所 京都市内 参加予定者数 100名  
(中国四国地区)

日時 平成25年9月13日

場所 徳島市内 参加予定者数 100名  
(九州地区)

日時 平成25年5月11日

場所 宜野湾市内 参加者予定数 100名

- ・若手外科医の手術を含めた診療能力向上のための「一病院間医師交流による若手外科医師の教育プロジェクト」を行う。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力する。
- ・「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン」の運用を図る。
- ・外科学用語集の改訂を行う。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第4条第9号）

- ・広報活動として、第39回市民講座を下記のとおり行い、インターネット上で配信する。  
日時 平成25年4月14日  
場所 アクロス福岡（福岡市）  
テーマ 「進化する外科治療」

⑩医療政策に関する建議（定款第4条第10号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力する。
- ・日本医療安全調査機構に参加し、死因の調査分析事業に協力する。
- ・「チーム医療推進会議」に協力し、特定看護師（仮称）に関する制度の創設を図る。
- ・外科医の労働環境についての調査収集を行い、その結果を元に環境改善を要望する。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第7号）

- ・代議員の選挙制度見直しについて検討する。